

プロフィール

1982年3月10日生

資格：保育士

党籍：無所属

趣味：読書、おかしづくり

会派：つなぐプロジェクト

好きな物：くだもの

お茶の水女子大学大学院修了。IT系人事職として、社員が働きやすい会社づくりにつとめる。2011年より台東区議会議員。3期12年間、最年少かつ、唯一の未就学児を子育て中の女性議員として現実に即した提案を行う。女性議員の少なさへの課題意識から立ち上げた一般社団法人WOMAN SHIFTの代表理事。4歳、0歳の2児の母。ママの議員インターンを受け入れ中。

連絡先

皆様のお困りごとを政策につなげます!お気軽にご連絡ください。

臨時事務所：台東区上野桜木2-10-11F (2023年4月2~23日)

M A I L : info@sayohomme.com



発行：台東区議会議員 本目さよ 台東区谷中3-24-8-203

ほんめの“眼” ~HOMME's EYE~



子育て、本命。

—やさしい政策—

子ども、女性、ICT政策に
力を入れています!

- ・議員としての想い
- ・今までの実績
- ・今後も取り組みたいこと

台東区議会議員 無所属

ほんめ



本目さよ

本目さよの想い

誰もがやりたいことができる社会にしたい。



出産のせいで
仕事ができなくなる
なんて悔しい……

人事職として働いているとき、育児休業を取得した女性社員から「保育園に入れなくて仕事に戻れません」という連絡が。「子どもを産んだから」「女だから」「男だから」という理由で、やりたいことができない社会はおかしい。

人生を決断したのは12年前。台東区議会で最年少かつ、現在は唯一の未就学児を育てる女性議員としての提案はどれも重要だと思っています。

3期目で大きく前進できたこともあり、今までの台東区政を大きく変えるきっかけになれたと信じています。

誰も変えてくれない
なら私がやる!



自分で実際に出産を経験して、議員活動に使える時間が減ったことに焦りを覚えましたが、**経験に即したより具体的な提案も数多くできるようにもなりました。**

コロナ禍での臨時休園で、在宅保育と仕事がまったく両立できないことへの絶望感。かわいい盛りと一緒にいられる時間が増えて嬉しい反面、たびたび休園になる保育園生活は決して楽ではありませんでした。

現役子育て世代の代表として、全力で議員としての責任を果たしていくことを約束します。

子育てを辛いと思
う人をなくしたい。
果てしないですが、
私の野望です。



台東区議会議員

本目さよ



今までの実績

～子ども～

● 訪問型病児保育の補助

1期目の最初の一般質問で病児保育を提案したところ「病気のときくらい親がそばにいてあげたほうが良いという考え方もあります」と答弁されて唖然としました。セーフティネットとしての病児保育は必要だと訴え実現！

● 多胎児支援

区内の双子ちゃんを育てる保護者の方からご相談いただき、今までになかった多胎児を育てるご家庭への移動支援や、家事支援などの充実が実現！

● リユースクローゼット

蔵前の環境ふれあい館ひまわりにて、子ども服を寄付＆もらえる仕組みが実現！

● 幼稚園での預かり保育

区立の幼稚園での預かり保育を実現！

● いっつき保育やショートステイ（お泊まり保育）の充実

いっつき保育の利用対象年齢が6ヶ月からに拡大。谷中でのいっつき保育も実現！ ショートステイの利用対象年齢も18歳までに拡大！ などほかにも多数



今までの実績

～女性～

● 学校の標準服に女子の長ズボンやキュロットを導入

そもそも標準服に賛否があることは知っていますが、特に女子がスカートしか履いてはいけないという（標準服なのであくまでモデルのはずがほぼ強制であることも課題と考えます）状態は一部の学校で改善しました。

● 保育園のおむつ持ち帰りがなしに

保育園では今まで汚れたおむつを保護者が持ち帰っていましたが、衛生面や保護者の負担の観点から、おむつを持ち帰らなくても済むように！

● 流産・死産などのペリネイタル・ロスに関する周知と対応の強化

死産の場合でも産後ケアが使えることの周知や、本来一番理解をしているべき保健所職員の研修実施などが実現！

● リフレッシュで使えるベビーシッター制度を導入

年間144時間（年間36万円分）、多胎児の場合は1人288時間×人数分（双子の場合は144万円分）の補助が実現！ などほかにも多数

今までの実績

～ICT政策～

● RPA（自動化技術）の導入推進

PCで行う単純作業を、ロボットを導入して自動化するのがRPAです。役所の職員には人間でしかできないことをやってほしい！ RPA導入で、例えば

【会議室予約重複調整業務】

業務時間：約452時間／年 → 削減時間：約430時間／年
つまり**95%も業務時間が削減できた**という実績があります！

● 区立保育園の連絡帳の電子化

保護者の方から手書きでしかも複写式の連絡帳は使いづらい、また食べたものを細かく書くのがしんどい、というお話をいただいていた。

● 公立学校園での相互やりとりできるシステム導入

学校園などと保護者間の緊急連絡やお知らせ、出欠席などの連絡手段をデジタル化し、迅速に連絡できる体制が実現！ などほかにも多数

※掲載項目は、区議には予算の執行権がないため、本目さだけが提案したものではないものもありますが、提案に関わったもの。

これからも引き続き取り組みたいこと



子どもにやさしい政策

保護者が笑っていて、子どもも笑っている台東区

- ・早産児への対応
- ・不登校のこどものための政策多様化
- ・公園の禁煙化
- ・保育の質の向上（保育士賃金の向上含む）
- ・母子向け防災の情報と備蓄の充実 など



女性にやさしい政策

女性の立場に立ち、性別にかかわらず誰もが暮らしやすい台東区

- ・更年期と妊娠出産、プレコンセプションケア*
- ・ペリネイタルロス（流産死産）へのケアの充実
- ・子どもクラブにおける宅配弁当の実施
- ・小中学校のトイレに生理用品設置 など

*将来の妊娠を考えながら女性やカップルが自分たちの生活や健康に向き合うこと



みんなにやさしいICT政策

ITなどさまざまなツールが活用できて、わかりやすい台東区

- ・子育て周りの申請を電子化
- ・リノベーションまちづくりの推進
- ・ガバメントクラウドファンディング（例：文京区子ども宅食）
- ・行政の仕事の効率化 など

★今後の政策の参考にするためのアンケート&応援メッセージにご協力ください！ →

